研究構想図

TOKYO ACTIVE PLAN で求める児童像
「運動やスポーツとの多様な関わりを通して、健康で活力に満ちた生活をデザインすることができる」

教育目標
○かしこく
　しっかり考え、進んで学ぶ子
○やさしく
　思いやりのある子
○たくましく
　明るくたくましい子

昨年度の研究
○運動やスポーツの大切さを感じる児童が増えた。
○運動やスポーツが好きという児童が増えた。
○朝食や睡眠に係る関心があまり高くない。

研究主題
「良好な学習集団づくりを目指した体育健康教育の充実」

研究仮説
安心して活動に取り組み，「わかる」実感をもちながら他者との協働的な学びを重ねていくことで，主体的・対話的な学びが成立し，これにより児童個々の自己肯定感が高まり，互いを高め合う良好な学習集団が形成されていくだろう。

運動分科会研究仮説
運動の特性を味わわせながら，課題を解決させていく過程において，自身の考えを伝え相手の考えを受け入れる活動を繰り返し行うことで，良好な学習集団が形成されていくだろう。

生活分科会研究仮説
自身の生活や健康状態について把握し，友達と関わりながら，より健康的な生活を目指す活動を繰り返すことで，良好な学習集団が形成されていくだろう。

食分科会研究仮説
自己の食生活について振り返り，改善すべきところを考えたり，友達と食についての考えを伝え合ったりすることで，健康について学び合える良好な学習集団が形成されていくだろう。

運動分科会取組
○わかばスタートアップ
　（準備運動）
○休み時間の第四中学校の利用
○年２回の教員向け実技研修会
○短縄月間
○アンケート（全学年へ年間２回）

生活分科会取組
○わかば元気アップカード
　（睡眠時間・朝食についてなどの記録）
○身体活動量調査
　（歩数調査・日光受光量調査・唾液調査）
○外部講師による生活に関する授業
○アンケート（全学年へ年間２回）

食分科会取組
○栄養士の授業
○調理師、保護者への感謝の手紙
○食育の視点を明確にした指導
○アンケート（全学年へ年間２回）

研究キーワード　　わかる・かかわる・はい，できた「わ・か・は（ば）」

わかる
みんなが安心して活動に取り組むための手だて

かかわる
他者と関わる機会を設定し、自身の考えを広げるための手だて

はい、できた（できる）
児童全員が達成感を味わえるようにするための手だて

実証授業

検証

研究のまとめ